

第二十一回配本 姫路市史 第二卷 本編 古代・中世

監修 大阪市立大学名誉教授 栄原永遠男
梅花女子大学名誉教授 馬田綾子



極楽寺瓦経 第二巻口絵より



円教寺摩尼殿(懸造り) 第二巻口絵より



赤松政則画像(六道珍皇寺所蔵) 第二巻口絵より



後藤又兵衛(黒田二十四騎画像)より 第二巻口絵より

第二十一回配本『姫路市史』第二巻 本編古代・中世をお届けします

本書は既刊の第八巻史料編古代・中世1および第九巻史料編中世2に対応するもので、姫路を中心とする播磨の、古代から中世を経て織豊時代にいたる歴史を対象としています。第一章から第三章は古代、第四章から第七章は中世を扱っています。

第一章では、播磨を舞台とした記紀伝承を手がかりに古代播磨の情勢を概観したのち、大和政権の成立と政治体制について説明しています。さらに『播磨国風土記』の成り立ちとそこで描かれた古代播磨の交通や風土、「はりま」と「ひめじ」の地名起源などを紹介しています。

第二章では、奈良時代から平安時代初期の中央と播磨の政治動向に着目し、唐による中国統一と周辺諸国との緊張関係を機にわが国において律令制が整えられ、中央集権的な国家が形成されていく過程をわかりやすく説明しています。木簡など発掘調査の成果を踏まえながら播磨国の地方行政制度、社会経済、仏教の展開などについて詳述しています。

第三章では、平安時代中後期における摂関家の勢力伸張とその後の院制の成立、播磨国受領の動向を取り上げ、律令制の変貌について説明しています。また、書写山円教寺をはじめとする寺院と荘園の初期の姿とその後の発展を概観したのち、平氏政権の興亡について記述しています。

第四章では、鎌倉政権成立後の播磨国における地域変動に着目し、国衛機構と守護勢力の相克と寺社文化の興隆、荘園の開発と経営、相論などについて多面的に概説しており、ここできいよ赤松氏が登場します。

第五章では、鎌倉幕府の滅亡と建武政権の成立をとりあげ、赤松円心が活躍した軌跡を史料に基づいて詳述しています。新政権の崩壊と室町幕府の成立、南北朝動乱とめまぐるしく変動する時代に、赤松氏による播磨支配がどのように進展したか、また、その後の赤松氏の没落と再興をダイナミックに記述しています。

第六章では、応仁の乱が勃発し全国的に争乱が広がる過程で、赤松氏がいかんにして播磨支配を回復したか、山名氏との攻防を中心に詳しく紹介しています。また、戦国末期の織田政権による播磨侵攻と本願寺勢力による抵抗について史料にもとづいて丁寧に詳述しています。

最後の第七章では、第六章に引き続いて織田政権の武将である羽柴秀吉と在地勢力の戦い、黒田官兵衛の活躍など播磨を舞台に天下統一が進められた過程をダイナミックに詳述しています。後半では、豊臣期の姫路城と城下町について詳しく紹介し、特に、播磨の鋳物師を取り上げ、野里鋳物師など地域鋳物師の成立過程と活躍を史料にもとづいて紹介していますので、是非、多くの方に熟読いただきたいと願っております。

内 容

第一章 大和王権時代の播磨

- 第一節 記紀伝承にみえる播磨
- 第二節 大和王権と播磨
- 第三節 播磨国風土記の世界

第二章 奈良・平安時代初期の播磨

- 第一節 奈良・平安時代初期の政治過程
- 第二節 播磨国の地方行政制度
- 第三節 社会と経済
- 第四節 仏教と神祇

第三章 平安時代中後期の播磨

- 第一節 律令体制の変貌
- 第二節 性空と書写山
- 第三節 院政期の播磨

第四章 鎌倉時代

- 第一節 京・鎌倉政権の成立と播磨
- 第二節 荘園公領制の社会と文化

第五章 南北朝・室町時代

- 第一節 南北朝内乱と姫路
- 第二節 赤松義則・満祐の時代
- 第三節 嘉吉の乱後の播磨

第六章 戦国時代

- 第一節 応仁の乱と赤松・山名氏の抗争
- 第二節 赤松義村と浦上氏
- 第三節 戦国の争乱
- 第四節 戦国期の社会と宗教

第七章 織豊時代

- 第一節 織田政権と播磨
- 第二節 播磨をめぐる攻防
- 第三節 羽柴秀吉による播磨支配
- 第四節 豊臣政権期の姫路支配
- 第五節 野里村代官芥田氏
- 第六節 織豊期の文化と宗教
- 第七節 野里鋳物師と芥田氏

既 刊 案 内

本編	第一巻 上	自然	資料編	第七巻 上	自然	史料編	第十三巻 上	近現代 2
	第一巻 下	考古		第七巻 下	考古		第十三巻 下	近現代 3 (未刊)
	第二巻	古代・中世 (今回発刊)	史料編	第八巻	古代・中世 1	別編	第十四巻	姫路城
	第三巻	近世 1		第九巻	中世 2		第十五巻 上	民俗編
	第四巻	近世 2		第十巻	近世 1		第十五巻 中	文化財編 1
	第五巻 上	近現代 1		第十一巻 上	近世 2		第十五巻 下	文化財編 2
	第五巻 下	近現代 2		第十一巻 下	近世 3		第十六巻	年表・索引 (未刊)
	第六巻	近現代 3		第十二巻	近現代 1			

発刊当時のチラシにつき未刊と表示されている巻もありますが、姫路市史は全巻（16巻23冊）発刊済です。

購読申込みについて

書 名 姫路市史第二巻 本編古代・中世

〈郵送希望の場合〉

本の体裁 A5判／上製本／中性高質紙使用
装丁用織物表紙／貼箱入り

価 値 5,000 円 送料 500 円 (一部につき)

頒布方法 〈直接購入の場合〉

次のところで販売しています。

城内図書館 史料整理担当
市政情報センター (市役所 1 階)
ジュンク堂書店 (姫路店)

●現金書留・郵便為替

下記の住所までご送金ください。

申込先 〒670-0012

姫路市本町 68-258 日本城郭研究センター内
城内図書館 史料整理担当

TEL(079)289-4886 FAX(079)289-4891